



福島県指定重要文化財

蒲生秀行廟保存修理工事 現場見学会

蒲生秀行廟は、会津若松の礎を築いた名君蒲生氏郷公の嫡男、蒲生秀行公の御廟で、今から約400年前に菩提寺である弘真院の境内に建立されました。秀行公は13歳の時に父の急死により家督を継ぎましたが、時の関白豊臣秀吉に家中の不和を咎められ宇都宮に左遷されました。その後関ヶ原の戦いでの功績などが徳川家康に認められ会津に復帰し城下の振興に努めるも、地震や家中不和などの心労も重なり30歳の若さで死去しました。

石造りの五輪塔を護るように建てられた、木造の鞘堂(御霊屋)は、江戸初期の建築の特色を残しているとして、昭和61年に福島県の重要文化財に指定されました。平成3年には建物の解体修理工事が行われ、茅葺き屋根も葺き替えられましたが、30年以上が経ち茅が傷み始めたため、耐久性の高い銅板葺きで葺き替えることとなりました。

工事は2カ年度に亘って実施されており、昨年度は既存の茅を撤去して新しい屋根下地を完成しました。今年度は新しい屋根下地に銅板を葺いて工事完了の予定です。

今回の見学会は、銅板葺きの工程を間近で見ることができる貴重な機会ですので、皆様お誘い合わせの上お越し下さい。

● 注意事項 ●

- ① 工事用足場が上がりますので、動きやすい服装・履物でお越しください。
- ② 見学時には、現場で用意するヘルメットの着用をお願いいたします。
- ③ 工事現場内での見学のため、安全上の理由により、見学をお断りすることがございます。
- ④ 荒天等により当日に中止する場合には、電話にてご連絡いたします。

※詳細は会津若松市のホームページでご確認下さい。➡



主催 / 宗教法人弘真院

協力 / 会津若松市教育委員会文化スポーツ課、
福島県教育庁文化財課、有限会社ベル、有限会社木匠

● 会場

蒲生秀行廟 会津若松市館馬町11
※境内に駐車スペースがあります

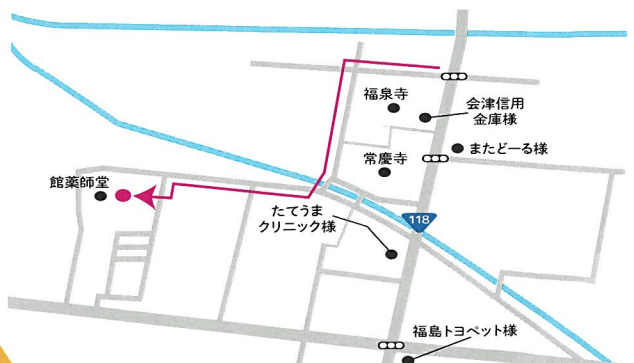
● 日時

令和 5月16日(土)
8年

- ① 11:00~11:20
- ② 11:40~12:00
- ③ 13:00~13:20
- ④ 13:40~14:00
- ⑤ 14:20~14:40 ※各回同じ内容です。

各回定員10名程度・先着順

● 申込期限 令和 5月11日(日)まで
8年



申込先 / 会津若松市教育委員会文化スポーツ課 Tel.0242-39-1305 (平日8:30~17:15)

(参加者全員の氏名、電話番号と参加希望回をお伝え下さい)